

まち運営会議(第147回)議事録(概要)

令和6年7月25日 18:30～20:10

自由が丘エヌケービル3F 会議室

議長 卯月盛夫

議題 報告事項

- 1.自由が丘エリアプラットフォームで検討を開始する「パブリックスペースの日常的な利活用に向けて」について 目黒区地区整備課
- 2.その他

資料

- 1.本会議の位置づけ及び昨年度の振り返りについて
- 2.未来ビジョンのまちづくり目標を実現するための取組アンケート結果
- 3.自由が丘写すわーのご報告
- 4.今年度の取組内容について ～パブリックスペースの日常的な利活用に向けて～
- 5.パブリックスペース管理運営ガイドラインのアウトプットイメージ
- 6.ホイップるん 20th ANNIVERSARY

*上記資料は、まち運営会議のホームページにこの議事録概要と併載します。

●議長 第147回自由が丘のまち運営会議を始めます。今日は1つの議題です。

- 1.自由が丘エリアプラットフォームで検討を開始する「パブリックスペースの日常的な利活用に向けて」について

●議長 区から説明をお願いします。エリアプラットフォームについても私たちの理解が不十分だと思われるのでよろしくお願いします。

●係長 自由が丘エリアプラットフォームは自由が丘のまちづくりに関わっている諸団体から構成された自由が丘まちづくり連絡調整会に代わるもので、まちづくり状況の共有や各種活動の取組調整などの会議体でジェイ・スピリットが中心にあり、令和5年の2月に名称を改めて設立した。自由が丘未来ビジョンはジェイ・スピリットのつくったランドデザインの内容を実現するために整理したもので、その中で都市再生整備計画に位置づけられるものは、順次事業として調整していきたいと考えている。自由が丘未来ビジョンを令和5年2月に自由が丘エリアプラットフォームで策定した(資料1と2参照)。

自由が丘駅周辺では今後再開発が進み、いくつものパブリックスペースができるので、その利活用を今のうちから考えておきたい。パブリックスペースとは、公共空間(道路、駅前広場等)と公共的空間(再開発事業や任意の共同化・個別建替え等によって整備される歩行者空間・広場等)を併せたものである。

昨年度の社会実験を振り返り(資料3参照)、今年度からパブリックスペースの利活用実験と「自由が丘パブリックスペース管理運用ガイドライン」の策定に向けて試行する。その内容は再開発事業の進展に併せてバージョンアップするように検討したい(資料4参照)。今回は管理運用者として目黒区が担当する。その役割については資料4の右下に4点挙げてある。

ガイドラインのイメージを資料 5 に示した。①パブリックプレイスを活用するにあたっての理念・注意事項等 ②活用場所と活用アイデア ③利用案内（例えば、レンタル可能品、利用料金、提出書類、・・・） ④各パブリックプレイス（駅前広場、一部の 127 号線用地、再開発による広場等）の説明（例えば、図面、面積、場所の特性、・・・）である。説明を終わります。

（*説明はわかりやすい資料を使い丁寧であったので、添付する資料を参照してほしい。）

- 議長 ありがとうございます。意見・質問をお願いします。
- エリアプラットフォームやパブリックプレイスについて分かった。その利活用に向けてどんどんやってほしい。
- 公園や道路空間の活用でも収益をあげていかないと長続きしない。プロモーションもあり得る。試行して対応を考えていくのがよい。緑道利用の現状も参考になると思う。
- 係長 現状は区が管理者の役割をしながら、利用者及び管理者の体験した課題等を把握しておくことが必要だと考えている。地元の活発な活用を期待したい。
- 議長 資料 4 の裏ページにあるが、利用について平日の日常時、中規模のイベント時、歩行者天国時などと分けて考えておくとよい。将来的には駅広の西側に常設のオープンカフェも考えたい。
- パブリックプレイスでの物販やプロモーションについても、その意図と利用対象などを実験し評価して課題を明らかにしたらよいと思う。
- 係長 こういう試みができればよいと思う。パブリックプレイスがまちの賑わいや憩いの場になるのはよいと思うが、管理者が疲弊しないように、利用者が一定のルールに則って利用してもらいたい。
- 議長 公共空間で収益をあげてよいのかという疑問はいつも発生する。ベンチを置くとか、憩いとバランスをとることは大事だ。
- 係長 政治的なものはダメなどのルールを掲げるが、収益がないと長続きしないのではないかと考えている。
- ガイドラインの策定について、自由が丘と状況の似ているまちでの先行事例はあるのか。
- 係長 千代田区がガイドラインをつくって運用している。区の場所であっても管理運営は地元と協定を結んで行うのがよいと思っている。道路に関しては警察も関係するが、利用にあたって区が支援するということで対応できたらと思う。
- 議長 イベントで公的用地の使用許可をとるのがやっかいである。松山市はまちづくり会社が許可を出している。自由が丘でも管理運営者にどういった権限移譲をするか研究課題になる。
- イベントをするにはエネルギー、時間、お金を要する。自由が丘駅周辺で日常的にするには、誰がどのようにするのか 10 年先までの期間を考えても大変だ。
- 係長 日常的といっても平日ではないときに、音楽、アートなど小さな取組で賑わいを創出することをイメージしている。回数についても試行しながら考えていきたい。
- 10 年かけて、まちでの取組を確立していくことが大事だと思う。
- いまある似たスペースのあるデュ・アオーネやトレインチのような所と一緒にやれるとよい。出展者・利用者の対象は自由が丘や目黒区内の地元の人が潤うことも考えたらよい。
- 係長 ご指摘の場所との連携は探っていきたい。緑道の管理は世田谷区と目黒区と分けているが、その利用については分けずに対応したい。
- 今年度の試行の目的は、利用者を見出す方法を見つけることか、どのように利用したら適切かの検証をすることか。
- 係長 現時点では社会実験のため区が一部援助をする。来年度は回数も増やしたい。子どもの遊び場に関しても、どのような事ができるのか考えている。今回の社会実験の経験を元にガイドラインをつくることを目的としている。プレイヤーを増やすことが目的ではない。いまの段階は利用

者をどんどん増やすことでなく、管理がどうあったらよいかを考えることが重要だと思っている。

●利用者の範囲としてエリアプラットフォームの構成員を考えているが、区内には子育て支援や昔のおもちゃで遊ぶ団体もある。これらの団体の利用についてはどう考えるか。今回は応募期間も短い。今後、募集方法や対象についても検討してほしい。

●係長 そのような活動は今回の取組の意図と同じなので、区に相談してくださるとありがたい。

●社会福祉協議会関係の団体もあるだろう。

●係長 現在相談に来ている団体は 2 つある。

●議長 適当とおもわれる団体に声かけして、区と相談するように話していただければよいと思う。

●自由が丘駅周辺は商業地なので近隣からも大勢の人が来る。自由が丘では公共的空間としてパブリックプレイスだけでなく、ホールなどの公共施設も不足していることを頭に入れておきたい。

●利用対象者として思い出したことがある。自由が丘住区住民会議は長年秋に小学校の校庭と体育館を借りて「おまつり広場」を開催してきた。野球やサッカーのクラブ、ボーイスカウトなどに呼びかけたらそれぞれ子どもたちが楽しめるコーナーをつくってくれて人気があった。駅前広場の利活用でそうしたことも考えられると思う。

●議長 1 つのテーマでこれだけの意見交換ができた、貴重な会議であったと思う。

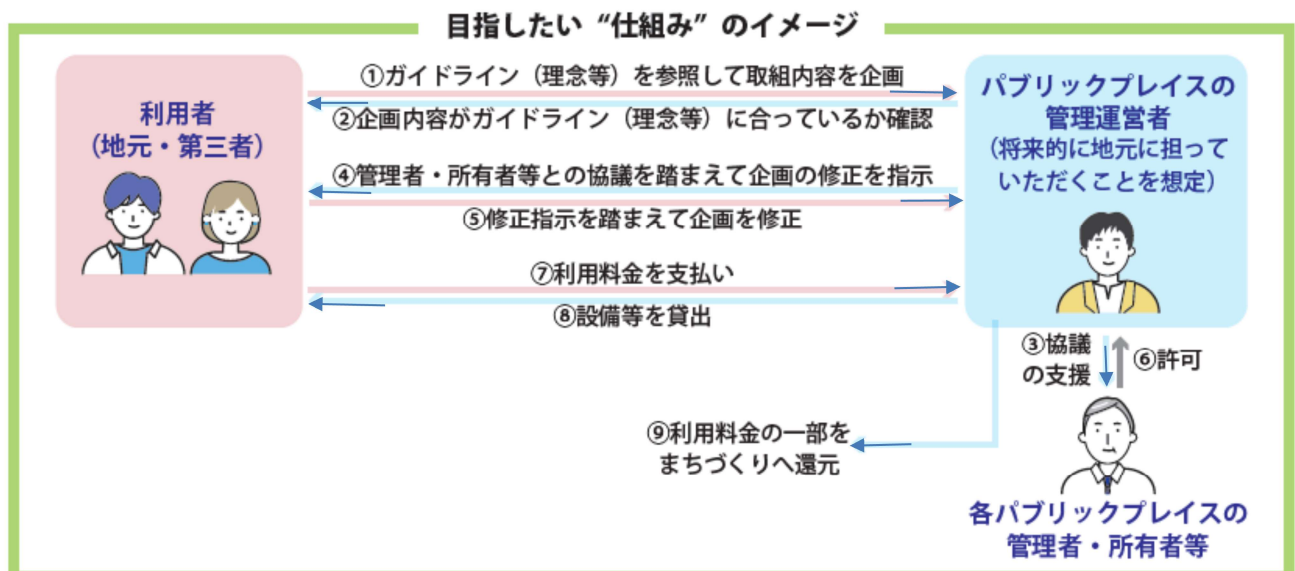
2. その他

●振興組合相談役 資料をお配りしたが、ホイップるんが 650 点の応募から生まれて 20 年になる。目黒区から住民票をもらい、いろんなイベントに招かれて活動してきた。女神まつりも 50 回になるので、それに併せてグッズもつくり配布することを考えている。10 月 19 日にはパーシモン小ホールでお祝いの会も企画している。9 月 28 日（土）には「アド街天国」で自由が丘が取り上げられる。まちの宣伝もしていきたい。

●議長 先日、ジェイ・スピリットの岡田代表ら数人と目黒区長に自由が丘 1-29 周辺の道路のデザインの将来像について提案書を提出した。区長はできるだけ協力すると応えてくれた。

本日の自由が丘のまち運営会議を終了します。ありがとうございました。次回は 9 月 26 日です。

（*以下は資料 4 の一部）



●ただし、上記の“仕組み”づくりは、一足飛びにはいかないと認識しています。